

生徒会取材班

今回は

女子バレーボール部

取材しました!



会長
野澤航平

監査
森 真育

取材に伺った私たちにパワーをあたえるようなその姿は、8月の太陽に負けないほどの輝きを放っていた。

暑さがまだまだ残る8月26日、女子バレーボール部が活動していた体育館は、きっかりとした陽の光と濃い影に彩られていた。そこに足を踏み入れると、和気あいあいとした雰囲気。そして、それと対称なメリハリに、私たちは一瞬にして引き込まれた。

究極の連携プレーを目指して

入念なストレッチの後に、始まった練習。先輩後輩で教えあうというスタイルだ。汗が噴き出る体育館の中、何度も何度も同じ練習を繰り返す彼女たち。



選手インタビュー

取材させていただいた日はどんな練習をしていたんですか?

走って体操ストレッチをしたあと、まずはオーバーパスやアンダーパスなどの肩ならしをする。今はまだ始まってすぐだから、フォームとかの練習をしてから実践形式の応用練習をしています。

バレーボールの難しいところってなんですか?

ボールをキャッチできないからミリ単位で感覚を調整しなきゃいけないところ。だからほんとはオフの日も含めて自主練とかで毎日でもボールを触ってられた方がいい。

みなさんの目標はなんですか?

みんなを支えられて、頼りになるレシーバーと苦しい時に決める事ができるスパイカーになる事です(寺戸さん)。

私はレギュラーに残って自分の役割を果たしつつ、声を出せて、判断を早くできるプレイヤーになる事です(海老沢さん)。

私は苦手なパスを克服して、低い姿勢でセッターにいいパスを出せるプレイヤーになる事です(橋本さん)。

チームもベンチも 気持ちをひとつに。

私たちが取材していたとき皆さんの声がとても印象に残っているんですが...
試合中、相手は自分たちのチームの取りづらいうところとか、人がいない場所に攻撃してくるんです。しかもボールを落としたりしちゃいけない。だから早く声を出して仲間に伝えないといけないんです。ほかに、チームの雰囲気を作るために、声掛けつバレーにはかなり大切な事です。

思いやりのプレーで つなぐ1・2・3。

バレーボールの好きなところってなんですか?



私(寺戸琳佳さん)は、プレーに思いやりが必要などころかな。バレーボールって3本で返さなくちゃいけないから、「ここにトスしたら打ちやすいだろうなあ」みたいな仲間を思う気持ちが声掛け以外にも必要になるの。他にも、気持ちをみんなまで合わせないといけないこともなあ。自分が打たなくても、名前を呼んであげたり。まわりの人は応援もできる。そういうまとまりでできることも好きです。

次の大会はいつになるんですか?
11月初めの新人戦です。これまで出場してきた2部ではなく、全国大会にもつながる1部に出ることを目標にしています。本日は取材のご協力ありがとうございました。これからも頑張ってください。

